

# 医療従事者の負担軽減及び処遇改善に関する取組み

当院では医療従事者の負担軽減及び処遇改善のため、下記の項目について取組みを行っております。

令和8年4月1日 富山労災病院

## 1 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画（8年度計画）

以下の取組みにより、勤務医の負担軽減・時間外勤務の削減を進めていく。

取組事項	8年度計画（具体的項目）	評価部署
①医師と他職種による役割分担 多職種タスクシフトの継続拡大	ア 特定看護師(特定行為修了者)の活用範囲の拡充	幹部会 看護部
	イ 医師事務作業補助の配置最適化	医事課
	ウ RI投与・STAT報告の継続	中央放射線部
	エ 疑義照会プロトコル作成の継続	薬剤部
	オ 超音波・平日午後の採血の検査部実施	中央検査部
	カ 診療補助業務の拡大 ・人工透析装置など各種機器の操作・点検	中央臨床工学部
	キ 医師の包括的な指示の下、一般食の食事形態等の変更 ・医師に対する、特別治療食や経腸栄養剤の食事内容の提案 ・クリニカルパスや継続指導依頼など医師の包括的な指示の下に行う栄養食事指導	栄養管理部
②診療応援等医師の活用	平日夜間・休日の待機応援を継続し、当直回数の削減と当直後休養を徹底する。	総務課
③地域医療機関との連携推進	紹介・逆紹介の維持拡大（逆紹介200件超の水準維持を目標）と院内外啓発を継続する。	医事課
④外来患者数縮小への取組み	病診連携の周知、安定再来は開業医へ、紹介状のない初診は選定療養費を徹底、予約の適正化で外来負荷を軽減する。	医事課
⑤医師の勤務体制等に係る取組み	ア 連続当直回避	総務課
	イ 手術前日の配慮を継続	
	ウ 交替制勤務／複数主治医制の拡大	
	エ 短時間常勤医の周知	
	オ 当直明け完全休日日数の確保	
	カ 勤怠管理システム導入検討を前進させる。	

## 2 看護職員の負担軽減及び処遇改善に資する計画（8年度計画）

以下の取組みにより、看護職員の負担軽減・時間外勤務の削減を進めていく。

取組事項	8年度計画（具体的項目）	評価部署
①業務量の調整	看護補助者へのタスクシフトをさらに推進し、終業間際対応の引継ぎ改善を継続する。	看護部
②新卒職員、新入職員、妊娠中の看護職員に対する配慮	若葉マーク／妊婦バッジ運用と周囲の支援・安全配慮を継続する。	看護部
③妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	短時間勤務・深夜業制限など個別事情に応じた勤務調整を継続する。	総務課 看護部
④看護補助者の配置	看護必要度の高い病棟へ重点配備し、毎月の教育で直接ケアを段階拡大（ナイト／ケアアシスタントの直接ケア移行）。	看護部

⑤多職種との業務分担	ア 外来での休薬指示・定期処方調剤方法による病棟での配薬カートの時間短縮等、効率化を継続	薬剤部
	イ 中央リハビリテーション部との連携によるリハビリ患者送迎	中央リハビリテーション部
	ウ 臨床検査技師による採血の実施	中央検査部
	エ 救急救命士による救急搬送時の介助、診療の補助	看護部
	オ 臨床工学士による医療機器管理	中央臨床工学部
⑥多様な勤務形態の導入	妊娠・子育て中の短時間勤務、夜勤の減免制度。 被介護者への配慮 妊娠・子育て中の短時間勤務、夜勤の減免制度、被介護者への配慮等を継続する。	総務課 看護部
⑦研修会・勉強会の実施時間の検討	研修会、職場での勉強会は勤務時間内での実施を推進 ・時間内での研修ですべて賄うのは困難であり、業務として認められるもの、任意参加によるものを明確化する。 ・任意参加によるものを明確化する。 ・また、時間内で行えるよう計画立案し開催する。 ・必須研修はバリテス配信で全員受講、ラダーの一部を勤務時間内へ移行し、参加しやすい日程を設計する。	看護部
⑧人員に関すること	安定的な欠員補充と定着推進の継続 広報・学校訪問・見学受入等の募集継続、離職防止の面談・フォロー継続（夜勤可能者の確保）。	総務課 看護部

### 3 医療職の負担軽減及び処遇改善に資する計画(8年度計画)

以下の取り組みにより、医療職の負担軽減・時間外勤務の削減を進めていく。

取組事項	8年度計画(具体的項目)	評価部署
①放射線部門に関すること	受付配置を継続。 病診連携システム稼働後は共同利用をオンライン申込化し、受電・調整を効率化(STAT報告等は継続)。	中央放射線部
②薬剤部門に関すること	定員確保と産休育休補助の安定確保、学部訪問・説明会参加で欠員補充を継続(疑義照会プロトコル等の運用継続)。	総務課 薬剤部
③臨床検査部門に関すること	受付・案内・物品管理の安定運用、繁忙帯での採血支援を継続(受付人員の安定配置)。	中央検査部
④リハビリテーション部門に関すること	受付・物品/事務補助の継続 看護部とのタスクシフトは継続で検討する	中央リハビリテーション部
⑤臨床工学部門に関すること	機器点検・操作教育を継続し、保守点検の外部委託移管を段階的に検討	中央臨床工学部
⑥栄養管理部門に関すること	給食業務を委託し病院職員が栄養管理業務に専念できるよう、病院職員と委託職員が連携し円滑な運営を実施する ・毎日のミーティングによる情報共有 ・給食業務の運営に必要な学習の実施	栄養管理部

### 4 その他

以下の取り組みにより、全職種の負担軽減・時間外勤務の削減を進めていく。

取組事項	8年度計画(具体的項目)	評価部署
全職種に関すること	会議・委員会・研修は可能な限り勤務時間内に設定し、時間外の削減を継続	総務課